

令和２年度 深川市社会福祉協議会 事業報告

1. 総括（事業実施概要及び決算概要について）

（１）事業実施概要について

深川市は、高齢化率（人口に占める６５歳以上の人が占める割合）が４０％を超える「超高齢社会」のまちとなり、一人暮らしの高齢世帯や高齢夫婦世帯など高齢者のみで生活する世帯が増え、若い世代の人口流出も一層進行しています。

また、高齢者が「住み慣れた地域で末永く」継続し生活していくために家族以外の手助けを必要とする場面が増え、近隣住民の皆さんが主体的に進める「地域福祉活動」の充実や、地域福祉活動を支える支援体制も必要となっています。

本年度、「地域福祉活動」の中核的役割を担うの本会は、一人ひとりの住民や地域の「福祉ニーズ」に応える事業推進を図り、深川市など行政に「地域福祉活動」の現状や役割の重要性を伝える「橋渡し役」を担い、住民が生き生きと参加できる「福祉のまちづくり」を目指して事業推進を図りました。特に令和２年２月より「新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）が広まる中、「地域福祉活動」における感染対策情報の提供などに努めました。

具体的には、深川市の受託事業として進めている「地域支え合い体制づくり事業」において、地域の支え合い活動の発見や困りごとの調査を行う『生活支援コーディネーター』を前年度より配置しておりますが、令和２年９月より深川市より「地域おこし協力隊員」１名派遣して頂き、地域住民の皆さんとの交流がさらに深まり、充実した活動の展開を図ることができました。

次に、介護・福祉サービス事業では、介護支援専門員（ケアマネジャー）と訪問介護員（ホームヘルパー）が、それぞれ利用者に寄り添うより良いサービスの提供を目指し、職員のスキルアップと新型コロナ予防に関する情報を、インターネットなどを駆使し収集に努めると共に、内部研修を充実させました。また、介護職員をはじめとして徹底した感染症対策にも努めた一年でした。

そして、今後とも本会が地域住民の皆さんに理解され、これからも必要とされる組織として、永続的に活動していくために、国が進める「働き方改革」も考慮しながら、組織や事業の見直し・経営の効率化などの検討と具体的な展開を図りました。

なお、新型コロナ感染拡大防止の動きに伴い、一部計画していた会議及び研修会等の中止を余儀なくされることがありました。また、指定管理者として運営を担っている総合福祉センターに関して、深川市より休館要請を受けたことにより利用実績に影響が出る結果となりました。

(2) 決算概要について

単年度の収支差額（収入から支出を引いた金額）は「47,540円」の黒字となりました。当初予算では計上することができなかった今後必要となる積立金を積むことができた上での結果であり、単年度では良い経営状況とみることができると考えます。

これは、平成29年度より取り組んでまいりました「財政の安定化への方策」などにより経営改善を進めたことや、新型コロナ感染対策として国や北海道、深川市、そして北海道社会福祉協議会から補助金等を頂いたことなどにより、良い経営成績につながったものと考えています。

しかし、今後の経営状況が、より安定したものになったと判断できるものではないと思われることから、今後も経営に関して、会計士など専門家のアドバイスを活用しながら、今まで以上に経営感覚を備えた運営を行ってまいります。

2. 領域別事業報告

【 会務運営事業 】

(1) 会務の運営

①三役会議の開催（開催なし）

②理事会の開催

第1回：6月9日開催	第2回：1月25日開催	第3回：3月11日開催
------------	-------------	-------------

③評議員会の開催

定時評議員会：6月29日開催	臨時評議員会：3月30日開催
----------------	----------------

④監事監査の開催

第1四半期：8月25日開催	第2四半期：11月25日開催
第3四半期：2月25日開催	第4四半期及び決算：令和3年5月27日開催

⑤専門委員会の設置と開催（設置及び開催なし）

⑥会計事務所による巡回監査（4回）

8月7日、11月13日、2月4日、5月12日

⑦事業の企画運営及び資産の運営管理

⑧働き方改革に対応した業務執行の把握と取り組み

⑨職員会議による経営分析と運営の将来展望の検討

定例会議は毎月1回、年12回開催 その他、新型コロナ感染対策などによる臨時会議を随時開催

⑩一般会員（1世帯150円）、賛助会員（1口 個人2,000円）、特別賛助会員（1口 企業・団体5,000円）の維持拡大

納入実績 一般会員：8,388世帯	賛助会員：182口	特別賛助会員：110口
----------------------	-----------	-------------

⑪会員弔慰金（1人3,000円）、災害見舞金（深川市共同募金委員会）の支出

会員弔慰金：328人分支出	災害見舞金の支出なし
---------------	------------

⑫社会福祉功労者の顕彰

被表彰者（１名）	森下武弘 様（高額寄付による顕彰）
----------	-------------------

⑬各種団体事務局の協力

深川市共同募金委員会、深川市民生児童委員OB会

（２）関係機関団体との連絡調整

①５地区町内会連合会、５地区民生児童委員協議会の懇談会

開催なし ※ 理事会などを通じて情報交換を実施

②地域福祉関係団体との懇談会

開催なし ※ 随時情報交換を実施

③行政関係機関との連絡調整会議

深川市高齢者支援課と毎月「接点会議」を開催 その他、随時連絡調整を実施
--

（３）各種大会・研修会への参加及び諸会議出席

①北海道社会福祉協議会主催各種研修会

新型コロナ対策のため、オンラインでの研修会のみ参加

②北海道社会福祉協議会主催諸会議

新型コロナ対策のため、すべて欠席

③空知管内社会福祉協議会連絡協議会主催諸会議、研修会、大会等への参加

会長・事務局長会議に出席

（４）広報活動によるPR

①社協だよりの発行

第１２６号：７月発行	第１２７号：１月発行
------------	------------

新型コロナ対策の臨時号を作成し地域福祉活動団体へ送付（３回）

②ホームページによる法人の紹介と事業等の周知

【 介護保険事業 】

（１）居宅介護支援事業（介護保険サービス）

①介護支援専門員（ケアマネジャー）の配置

介護支援専門員の３名体制での運営 ※利用実績は別紙利用状況参照

②利用者に寄り添う介護計画（ケアプラン）の作成

③主任介護支援専門員（管理者）によるスタッフへの指導

主任介護支援専門員（管理者）を中心とした、定例のスタッフ会議などを通じて指導徹底を図る

⑤研修会参加等による資質向上への取り組み

他事業所との共催の研修会やオンラインの研修会、また内部研修により資質向上を図る

(2) ホームヘルプ事業（介護保険サービス・障がいサービス）

①ホームヘルパーの配置と管理体制の確立

事務職員を管理者として配置し、事業の全体把握と管理を行う体制を確立
非常勤ホームヘルパー退職補充など人的体制の整備
※利用実績は別紙利用状況参照

②処遇改善加算の活用による人的体制の確立

処遇改善加算を活用し、手当の支給を実施

③利用者に寄り添うサービスの提供

④研修会参加及びチームカンファレンスによる資質向上への取組み

オンライン研修会や内部研修、またチームカンファレンスにより資質向上を図る

【 低所得福祉事業 】

(1) 各種資金貸付事業と支援事業

①生活福祉資金貸付事業（北海道社会福祉協議会）の活用及び事務取り扱い

貸付件数：68件（緊急小口資金45件、総合支援資金23件）
新型コロナによる減収世帯への貸付

②福祉資金貸付事業（深川市社会福祉協議会）の貸付相談及び事務取り扱い

貸付件数：3件、貸付総額：50,000円

③歳末助け合い慰問金の配分推進（低所得者1人に対し慰問金3,000円を配分）

対象世帯：46世帯（53人）、慰問金総額：159,000円

【 児童福祉事業 】

(1) 青少年健全育成活動の支援

①地域子ども会への活動助成

深川市子ども会育成連合会へ助成

【 高齢者福祉事業 】

(1) 高齢者団体活動の支援

①シルバークラブへの活動助成

深川市シルバークラブ連合会へ活動助成

(2) 要介護高齢者本人及び介護者の支援

①移送サービス事業（通院時等）（深川市より受託、交通機関を利用できない車イス利用者が通院などに利用する送迎サービス）

利用回数：692回、利用者（月平均）：10.0人
新型コロナの影響と思われる利用のキャンセルが見られた

②福祉機器貸出事業（車イス、電動ベッド）

車イスや電動ベッドの無料貸し出し ※ 個人・団体（学校など）へ貸し出し

③当事者組織への活動助成

深川市介護者と共に歩む会（当事者組織）への活動助成及び活動相談支援

【 障がい者福祉事業 】

（１）障がい者団体活動の支援

①身体障がい者団体への活動助成

深川身体障がい者福祉協会への活動助成

②盲人会への活動助成

深川盲人会への活動助成

③障がい児親子レクリエーション事業への活動助成

深川市手をつなぐ育成会への活動助成

（２）障がい者本人及び介護者の支援

①移送サービス事業（通院時等）（深川市より受託）《再掲》

②福祉機器貸出事業（車イス、電動ベッド）《再掲》

【 地域福祉活動事業 】

（１）地域福祉活動の推進

①地域福祉体制づくり事業の推進

- ・例年実施している、地域福祉活動リーダー研修及び地域福祉活動セミナーは新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
- ・新型コロナウイルス対策として社協だより臨時号を作成し地域福祉活動団体へ送付（３回）
新型コロナウイルス対策の相談に対し情報収集の上アドバイスなどを行う

②地域福祉奨励事業の推進

《小地域ネットワーク活動助成と援助、新たな活動地域の拡大に向けた取り組み》

小地域ネットワーク活動団体への活動支援と助成 １８団体が活動継続中（ふれあい交流会、安否確認等を実施）※活動団体一覧（下記参照）

納内地区ネットワーク	多度志ネットワーク
ふれあいネットワーク旭区	ネットワーク３丁目
新光町ネットワーク	音江地域福祉ネットワーク
ふれあいネットワーク４丁目	更進小地域ネットワーク
南５丁目福祉ネットワーク	あけぼの福祉ネットワーク
ネットワーク稲田	丸の内ネットワーク
西町第１町内会ネットワーク	南１・２丁目ネットワーク
メム地区ネットワーク	広里地区ネットワーク
小地域ネットワーク まもるくん	太子町コミュニティネットクラブ

《敬老ふれあい事業への助成》

申請数：25件（52町内会）、助成金総額1,333,255円
※主な申請内容「他世代交流事業」

③日常生活自立支援事業（北海道社会福祉協議会）の広報・相談

利用件数：実績なし ※年間を通じて関係者から利用相談2件あり

④地域支え合い体制づくり事業の推進（深川市より受託）

《生活支援体制整備事業》

生活支援コーディネーターを配置し、地域へ出向き住民に対し生活支援体制整備事業の役割の周知、住民主体の支え合い活動の発掘、困りごと調査などを行う。また、深川市が開催する「生活支援協議会」の運営に参画し協力した（6回）。9月からは深川市より「地域おこし協力隊員（1名）」を派遣して頂き、2名体制で、本事業を推進

《介護予防ふれあいサロン普及啓発推進事業》

- ・事業周知活動：町内会長会議（4月書面）にて周知
個別に町内会等（4カ所）へ呼びかけ実施
- ・介護予防ふれあいサロン普及啓発推進事業：18カ所（継続17カ所、新規1カ所）を指定 ※活動団体一覧（下記参照）

あけぼのいきいきサロン

ふれあいサロン3丁目、

ふれあいサロン二十四孝

あさひ区ふれあいサロン

東大町茶話会

愛ふるプラザ南1・2丁目

南5青空サロン

納内ふれあいサロン

緑町ふれあいサロン

いこいこサロン（文光町）

更進サロン・芝さくら

サロン花園

新光町ふれあいサロン

開西町おむすびサロン

すこやかサロン（錦町）

友遊サロン末広、

多度志町内会元気サロン

ライパー会（旭区）〈新規〉

- ・サロンリーダー会議、研修会の開催
新型コロナウイルス感染防止の観点から会議・研修会は中止
代替としてサロン代表者宅を訪問し、活動や新型コロナ対策の意見交換を行う

《生活、介護支援サポーター養成・ネットワークづくり事業》

- ・サポーター養成講座の開催：16人が受講
- ・サポーターによる在宅高齢者への活動斡旋：112回（19人の高齢者が利用）
サポーター活動者数：7人 ※「通院同行」「生活支援：などの活動に利用
- ・サポーターネットワーク会議、研修会の開催
「傾聴座談会」を9回開催

《地域見守りネットワークづくり事業》

- ・災害時要援護者避難支援プランの作成及び対象者宅への訪問活動
プラン作成数：８９件（新規４７件、更新４２件）
作成に係る訪問回数：３１４回

《認知症サポーター養成事業》

- ・認知症サポーター養成講座（出前講座）の開催：６回開催
受講者数：１４０人（内 新規受講者数：１３３人）
合計受講者数：３，５９４人
- ・認知症サポーター養成講座修了者フォローアップ研修の開催：１回
参加者数：２４人
- ・認知症キャラバンメイト（講師）の会の会議、研修会の開催
新型コロナウイルス感染防止の観点から、会議、研修会は中止

《市民後見人、権利擁護ネットワークづくり事業》

- ・深川市成年後見地域連携ネットワーク会議の開催支援：３回開催
- ・市民後見人養成講座修了者フォローアップ研修の開催：２回開催
受講者数：のべ４２名
- ・成年後見相談窓口（毎週金曜日午前１０時から正午）の実施
相談件数：４件

【 ボランティア活動事業 】

（１）ボランティアの養成

①ボランティア養成講座（一般対象、高校生対象、出前講座）の開催

- ・一般対象：１６人が受講
- ・高校生対象：新型コロナウイルス感染対策の観点から中止
- ・出前講座（ボランティア楽集会）：３回開催（３団体、５４人が受講）

②ボランティア研修会（活動実践者対象）の開催

新型コロナウイルス感染対策の観点から中止

③ボランティア団体への活動交付金の助成

１３団体に活動交付金を助成

④ボランティア活動保険の加入取り扱い

７９９人が保険に加入

⑤深川市ボランティア連絡協議会の事務局協力

（２）ボランティアセンター機能の実施

①ボランティアコーディネート（連絡調整）機能の実施

②登録、活動相談、斡旋仲介の実施

- ・新規登録件数：個人３件、３名（登録数：１０８人）
団体０件（登録数：２１団体５５９名）※団体一覧（下記参照）

深川市ｽｰﾊﾟｰﾄﾛｰﾙ赤十字奉仕団	深川手話の会
深川市無線赤十字奉仕団	深川市赤十字奉仕団
深川市ｽﾊﾟｰｸﾗﾌﾞ 連合会ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ部	深川市民生児童委員OB会
深川BBS会	深川更生保護女性会
障害者支援施設あかとき学園	ボランティア野菊の会
ボランティアサークル多度志友の会	天龍HINOKISHIN倶楽部
深川東高校ボランティア委員会	音江ひなぎく
北海道ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾄｯｸの会北空知支部	ボランティア文光
就労支援センター青空	一体型共同生活援助介護事業所すずらん
ボランティア「黒船」	深川婦人会
有償ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱぷちボラ	
・相談件数：６４件（登録３件、斡旋１件、活動等６０件）	
・斡旋件数：１件（団体のイベントお手伝いに２人斡旋）	

【 一般福祉活動事業 】

（１）各種団体への助成

①遺族会への活動助成

深川市遺族会への助成

②里親会への活動助成

空知双葉里親会への助成

【 総合福祉センター維持管理運営事業（指定管理者制度：５年次の２） 】

（１）老人福祉センター、児童センター、働く婦人の家の管理運営

利用状況

：総合計１９，７７８人（前年比６，１１８人減）（前年度２５，８９６人）

・老人福祉センター６，４９３人（前年比１,３３３人減）（前年度 ７,８２６人）

・児童センター ５，３４４人（前年比２,８２４人減）（前年度 ８,１６８人）

・働く婦人の家 ７，９４１人（前年比１,９６１人減）（前年度 ９,９０２人）

※新型コロナウイルス感染対策のため、深川市から「休館」指示により４月から５月の期間で開館しない日がある